

第57回人間ドック学会学術大会参加報告

総合健診センター所長 田川隆介

7月28日、29日に長野県松本市にて開催されました。松本は県庁所在地ではありませんが、「学都・岳都・楽都」と呼ばれ、松本城、信州大学医学部を擁し、北アルプスを間近に仰ぐ歴史の薫る風光明媚な街です。今回は、市中にある相沢病院の院長である相沢孝夫大会長の、「健康で美しく生きるために～人間ドックのパラダイム～」のテーマのもと、大会長講演、特別講演、教育講演、招待講演を始め、シンポジウム4題、一般演題約500題の他、国際セッション、特別企画など充実したもので、地方開催に拘わらず、2,800名余りの参加者で盛り上がりました。

特別講演は「これからの医療・健診における国際展開」（経産省の笹子室長）と題して、平成25年に閣議決定された「日本再興戦略」を踏まえ、官民一体となって我が国の医療サービスや医療機器等の海外展開（アウトバウンド）および外国人患者の受け入れ促進（インバウンド）を進め、予防医学の観点からは、新興国における健診センターや画像診断センターの設立、国内健診・ドック受診希望の外国人に対するPRや受け入れの環境整備を進めていること、その課題や今後の方向性について解説されました。

シンポジウムⅠは、「これからの時代における人間ドックへの期待」のテーマで、「地域包括ケアと予防・人間ドック」（厚労省 唐沢保険局長）、「保険者が求める人間ドック」（健保組合連合会 白川副会長）、「人間ドック健診機関に期待される役割」（人間ドック健診協会 那須副理事長）として、其々の立場から今後の人間ドックの方向性に対する意見が紹介されました。

シンポジウムⅡは、「高齢化社会に向けての健康長寿延伸の取り組み～運動器の健康・検診～」をテーマに、「松本市の健康づくりの取り組み」（健康福祉部 古畑課長）では、市の健康寿命延伸対策として、「運動器の障害予防」に重点を置き、「骨折リスク計算」などを取り入れた「体力健診」と「体力づくりサポーター活動事業」を紹介、「10歳若返る「インターバル速歩」－生活習慣病・介護予防のための新しい運動処方システム」（信州大学 能勢教授）では、「インターバル速歩」（3分の速歩と3分の除歩の繰り返し）の体力向上、生活習慣病改善への効果等が解説され、「ロコモ・サルコペニアの予防と管理」（東大 小川准教授）では、筋肉、骨などの運動器に障害が起き歩行や日常活動に障害を認める状態である「ロコモ」、筋量や筋力の低下を特徴とする「サルコペニア」とホルモンや栄養状態の加齢性変化との関連性、運動・栄養介入などによる予防・治療の可能性について解説、「慶應大学病院予防医療センター運動器ドックからみた介護・フレイル予防のヒント」（慶大 石田准教授）では、人間ドックのオプションとして、膝関節・脊椎X線、腰椎MRI、骨密度、骨代謝マーカー、腹部CTによる体幹筋面積測定などからなる「運動器ドック」の導入が紹介されました。

シンポジウムⅢは、「今後の認知症対策～新オレンジプランによる推進～」をテーマに「認知症に対して社会はどうあるべきか」（厚労省 三浦局長）として、昨年初め厚労省が関係府省庁と共同して策定された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」について、「認知症薬物治療の展望」（弘前大学 東海林教授）として、アルツハイマー病薬物治療の現状と今後の展望について、「認知症の早期診断と予防」（東京医大 羽生教授）では、早期診断に有用な神経心理学的検査、脳画像検査、認知症と生活習慣や、生活習慣病との関連について解説、「地域で認知症の人を支える」（長寿医療研究センター 鷲見副院長）として、全国で行われつつある、認知症サポーター、認知症初期集中支援チーム、認知症サポート医、認知症カフェ、認知症地域支援推進員等の試みについて紹介されました。

シンポジウムⅣは、「新しい手法による大腸がん検診の展望」をテーマに「がんスクリーニングとしてのアミノインデックス」（三井記念病院 石坂センター長）として、健康な人とがんを持つ人の血中アミノ酸濃度バランスを統計的に解析することで、がん罹患のリスクを評価する方法を紹介、「CTcolonographyの現状と展望」（国立がんセンター 飯沼医長）として、大腸をCTにて3次元構成するCTCは、内視鏡検査と比べ、安全かつ簡便に実施可能であり、前処置などの工夫で精度が上がり、表面型腫瘍検出が困難なことなどの課題もあるが、デジタル前処置やコンピューター支援検出の最適化で、大腸がんの早期発見に貢献すると解説、その他「大腸カプセル内視鏡」、「PETがん検診」の現状と展望についても紹介されました。

教育講演は「膵がん診療の現状と将来」（成田記念病院 山雄顧問）として、膵がんの診断にCT、MRさらに超音波内視鏡ガイド下針刺などを用いることにより「やっと“光”が見えてきた」現状が紹介されました。

その他ライブデモンストレーションとして「超音波検査ライブセミナー」、市民公開講座として「腸内細菌が寿命を決める！」、さらに元NHKアナウンサーの松平定知氏の「「その時歴史が動いた」の現場から日本一の兵・真田幸村」と題した招待講演も会場を沸かせました。

しずおか健康長寿財団
だより 18

多彩な事業で、皆さまの健康・
生きがいづくりをお手伝い！

しずおか健康長寿財団では、中高年者の健康・生きがいづくりをお手伝いするため、様々な事業を行っています。

〇ねんりんピック長崎2016に静岡県選手団を派遣します

当財団主催の「静岡県すこやか長寿祭スポーツ大会・美術展」の成績優秀者を静岡県代表として、「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」に派遣しています。

本年は、長崎県において10月15日(土)～18日(火)の間、開催されます。

派遣する選手団は以下のとおりです。（当財団ホームページに選手名を公表しております）



スポーツ交流大会	卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道
ふれあいスポーツ交流大会	グラウンド・ゴルフ、太極拳、ウォークラリー、ソフトバレーボール、サッカー、水泳、ダンススポーツ、ボウリング、ラグビーフットボール、バウンドテニス、インディアカ
文化交流大会	囲碁、将棋、健康マージャン 以上24種目173人
美術展	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真 6部門 12作品

静岡県選手団の活躍を期待しています。

〇「第20回静岡県すこやか長寿祭美術展」を開催します

高齢者の文化活動の促進とふれあいと生きがいづくりを目的に、高齢者が創作する作品（日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門約300作品（予定））を展示します！



第19回（前回）工芸部門
静岡県知事賞作品

展示期間	平成28年12月 2 日(金)～11日(日) 10:00～17:00（最終日の11日は14:00） ※ 5 日(月)は美術館休館日です
会 場	静岡県立美術館 県民ギャラリー
入場料	無料

〇健康・生きがいづくり講演会
「快食、快眠、快便そして快運」の参加者を募集しています

健康づくり・生きがいづくりのポイントをわかりやすくお話しします。どなたでも参加できます！

日 時	平成28年12月 3 日(土) 13:30～15:00
会 場	静岡県立美術館 講堂
講 師	東海大学大学院 体育学研究科長 東海大学体育学部スポーツ・レジャー マネジメント学科教授 萩裕美子氏（博士（保健学））
参加料	無料 ※事前に当財団まで参加申し込みをお願いします



【問合せ先】
公益財団法人しずおか健康長寿財団 TEL 054-253-4221



よいクルマ、よいサービス



PRIUS



AQUA



トヨタレンタリース 浜松

元 城 店 ☎ 0120-01-0071
浜松駅前店 ☎ 0120-61-0097
天 王 店 ☎ 0120-10-2234

磐田駅前店 ☎ 0120-30-0211
掛 川 店 ☎ 0120-71-0095
URL <http://www.r-mark.co.jp>

営業時間 8:00～20:00 年中無休 （時期により短縮営業の場合あり）